

島根労働局発表
平成30年8月8日(水)

担当 島根労働局職業安定部職業安定課
課長 菖蒲 宏
地方職業安定監察官 景山 昭治
Tel 0852-20-7019

平成29年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組結果を公表します

厚生労働省では、平成27年度からハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価および評価結果等に基づく業務改善の取組を実施しています。

このたび、島根労働局（局長 ^{たむら かずみ} 田村 和美）では、平成29年度における県内ハローワークの評価結果等を取りまとめましたので公表します。

なお、島根労働局・ハローワークでは、評価結果等を踏まえ継続的な業務改善に取り組み、求人者・求職者サービスの一層の向上に努めます。

1 平成29年度の評価結果

ハローワーク	グループ区分	総合評価類型	
松江	グループ5	類型3	標準的な成果
浜田	グループ11	類型3	標準的な成果
出雲	グループ8	類型3	標準的な成果
益田	グループ10	類型2	良好な成果
雲南	グループ10	類型1	非常に良好な成果
石見大田	グループ10	類型2	良好な成果

(注1) 全国のハローワークを労働市場の状況や業務量が同程度の11グループに分類したうえで、同じグループ内で成果を比較し、次の4つの類型に分けて評価します。(別添1参照)

類型1：非常に良好な成果、類型2：良好な成果、類型3：標準的な成果

類型4：成果向上のため計画的な取組が必要

(注2) 出張所の取組は、本所（隠岐の島・安来出張所は松江、川本出張所は浜田）に含みます。

2 ハローワーク別の取組状況

別添2の「就職支援業務報告」とおりです。

(参考) ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価改善の取組（概要）については、別添3のとおりです。

平成 29 年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価結果

1 評価方法について

全国ハローワークを労働市場の状況や業務量が同程度の 11 グループに分類したうえで、全ハローワークに共通する評価項目とハローワークごとの重点的な取組項目の目標達成状況等を厚生労働省において、同じグループ内で成果等を比較し 4 つの類型に分けて評価します。

(1) 評価項目

全ハローワークに共通する評価項目	主要指標	就職者数、求人充足数（受理地）、雇用保険受給者の早期再就職者数
	補助指標	満足度（求人者）、満足度（求職者）、紹介成功率、求人に対する紹介率、求職者に対する紹介率
ハローワークごとの重点的な取組項目	所重点指標	地域の雇用に関する課題等を踏まえ、グループごとに 3 ～ 5 項目を設定（例：障害者の就職件数など）
	所重点項目	その他の継続的な業務改善の取組等 （例：職員による事業所訪問の実施など）

(2) 総合評価の類型

類型 1	非常に良好な成果
類型 2	良好な成果
類型 3	標準的な成果
類型 4	成果向上のため計画的な取組が必要

2 評価結果について

ハローワーク	グループ別	総合評価の類型	
松江	グループ 5	類型 3	標準的な成果
浜田	グループ 11	類型 3	標準的な成果
出雲	グループ 8	類型 3	標準的な成果
益田	グループ 10	類型 2	良好な成果
雲南	グループ 10	類型 1	非常に良好な成果
石見大田	グループ 10	類型 2	良好な成果

(注) 出張所の取組は、本所（隠岐の島・安来出張所は松江、川本出張所は浜田）に含みます。

(参考) ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価改善の取組（概要）については別添 3 のとおりです。

ハローワーク松江 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者の就職活動を支援する就職支援セミナーの受講あっせんや職員が適格な職業紹介を行うため、求人票以上の事業所の情報を得るために事業所訪問などの取組を行いました。とりわけ事業所訪問は、概ね全の職員が月 1 回以上事業所を訪問し、事業所情報の職員間での共有や求職者へ画像情報等を提供しました。

地方自治体、ハローワーク米子、関係機関等との連携を図り、島根県とは毎月 1 回定例面談会を開催し、ハローワーク米子とはハローワーク安来が県境を跨いだ合同面接会を平成 29 年度に初めて開催したほか、福祉分野においては島根県福祉人材センターとの連携による毎月 1 回の相談会・面談会を開催するなど求職者と求人事業主が直接面談できる機会を設定しました。

また、当所、ハローワーク出雲及びハローワーク米子の 3 所のマザーズコーナーの連携により、子育て中の求職者の利用促進を目的として、地元新聞社が発行する情報誌に毎月 1 回支援に関する記事を掲載し、読者からの好意的な反響を得ています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職業紹介を行うにあたっては、まず「求人事業所のことを知らなければならない」という観点から、職員による事業所訪問の実施を強化しており、マッチング総合評価の重点項目では「職員による事業所訪問」の達成水準が「正規職員全てが 1 回以上」となっていますが、当所では「相談員も含めて月 1 回以上」の目標を掲げて実施した結果、職員から「実際に訪問をしてみたら会社に対する印象が変わった」、「自分の目で見ていたので求職者への説明・紹介に自信が持てるようになった」、「事業主の考え方がよくわかった」などの感想とともに求職者へ求人票記載以上の有効な情報提供などの効果がでています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職員によるハローワークサービス改善提案の中で、「見やすいポスター類の提示、分りやすいチラシ・パンフレット類の陳列（※ハローワーク松江の行事予定等を含む）」という意見があり、陳列の見直しを行うとともに合庁 1 階ロビーに配置してあるボイスコール用の大型ディスプレイを活用してハローワークの行事予定等を放映することとしました。

併せて、そのディスプレイスタンドにポリテクセンター島根のパンフレットや実習作品等を設置してハロー・トレーニングの PR を行う等

の改善を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成 29 年度は、好調な景気を反映して求職者数が大きく減少する一方、在職者である求職者の割合が全体の 3 割を超える状況になっており、就職を急ぐ求職者が減少している実態にあります。

この状況下において、窓口を利用する求職者 1 人 1 人のニーズを的確に把握し、その求職者が抱えている課題を解決する相談を行い、就職に結びつけていくことが重要であるとの認識から、平成 30 年度は職員・相談員の資質の向上による職業相談レベルの向上を図ります。

また、人材不足が全業種に広がる中、平成 30 年度は従前の福祉分野に加え、建設・警備・運輸における人材確保を目的として「人材確保対策コーナー」を設置し、ミニ面接会の開催や隣接の鳥取労働局のハローワーク米子の人材確保対策コーナーと連携した事業主向けセミナー等の取り組みを行う予定としています。

利用者サービス改善・向上については、求人者、求職者への支援サービスの充実・改善と同様、ハローワークサービスの自己点検による職員の気づきの促しや、10 月に実施予定のサービス改善提案強化月間を通じて、更なる改善点の洗い出しと対応を図ることとしています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	4,955	4,771	1,482	83.5%	91.7%	16.1%	19.2%	402	96.3%	13,566	2,313	781
目標	4,920	4,830	1,578	90.0%	90.0%	18.2%	21.0%	369	90.0%	12,533	2,136	781
目標達成率	101%	99%	94%			88%	91%	109%	107%	108%	108%	108%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク浜田 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数（常用）及び充足件数（常用）の目標達成を最重要と考え、求職者ベースのマッチングに重点を置いて取組み、窓口、電話連絡及びDMによる求人情報の提供などにより、年間3,762件のマッチング実績と364件の就職数となったほか、求人者が求職者へ直接PRできる「ミニ面接会」を定期的で開催（年間99回開催、229人の参加、30件の充足）しました。

また、求人充足会議の定期的な開催（年間33回、対象求人件数90件）、求人票に記載された以上の情報の収集と求職者への提供、ミニ面接会への参加勧奨、リフレッシュ求人（採用条件見直し求人）の庁内掲示によるアピールなどのフォローアップを行うことによる充足件数は35件となり求人者から好評価をいただきました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

求人者及び求職者のニーズにマッチした適格紹介実現のため、窓口職員が事業所及び職業に対する理解を深め、説得力のある質の高い職業相談に繋げることを目的に事業所見学・研修（3日間で3社、各日とも職員・相談員計7～9名が1社を訪問）を実施し、参加者全員が事業所訪問記録シートを作成するなど情報の蓄積に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成29年度上半期に「ミニ面接会」を1社単位で開催していたところ、参加者が平均で2名と低調であったことから、下半期には事業所を5社程度集めた「企業説明会」を2回開催し、累計で参加事業所数9社、参加求職者51人の実績となりました。

また、求人事業所に対して高年齢者雇用の必要性や高年齢求職者の応募前の年齢に関する不安を説明した上で、過去の高年齢者の採用実績等から対象と判断される求人については「シニア応募歓迎求人一覧表」を毎月当該一覧表を発行し、生涯現役窓口での提供や高年齢求職者が見やすいように拡大して所内へ掲示しました。

求人充足会議に関しても年度中途から「開催スケジュール表」や「実施手順」を新たに作成するなど充足数向上の改善に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少傾向にある中、ふるさと島根定住財団との共催による企業説明会を開催することにより、安定所とふるさと島根定住財団の双方の求職者の参加を図り、求職者の確保に繋げるとともに人手不足の解消に繋げていきます。

また、求人票の付加価値である事業所の画像情報に経過年数に応じたメンテナンスを実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

求職者の減少を地域的課題と捉え、上記(3)の求職者確保の取組のほか、就職件数や充足件数を上げるためには一定数の求職者の確保が必要であることから、窓口利用の少ない求職者に対して積極的に来所の呼びかけとともに、的確な求職者サービスを提供していきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受領地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,119	1,935	650	89.3%	98.8%	14.3%	21.0%	47	4,849	1,004
目標	2,083	1,916	718	90.0%	90.0%	16.2%	22.7%	44	4,770	994
目標達成率	102%	101%	91%			88%	93%	107%	102%	101%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク出雲 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、所主要指標の目標達成のため、「求職者担当制」の取組を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、自ら定める「求職者担当制実施要領」及び「求職者担当制の進め方」に基づき、支援対象者の的確な把握、求職者担当制による予約相談、求人とのマッチング、応募書類の作成支援などの個別支援を実施しました。

求職者担当制の紹介率は156.1%（所全体106.5%）、担当制の紹介成功率は50.7%（所全体39.9%）と個別支援の効果が見られ、主要指標についてはいずれも目標値を上回ることができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業紹介部門、事業所部門の若手職員を中心に、「サポステ業務研修会」、「ハローワークシステム事務処理研修」、「利用者サービスの改善と問題解決に係る業務研修」、「労働基準法等に関する研修」、「職業紹介に関する研修」などを実施し、利用者サービスの向上、相談技法の向上、業務に関する知識の付与を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成29年度の利用者満足度アンケートでは、求職者の満足度95.5%に対し、求人者は72.5%と低く「支援メニューの周知」のほか「より多くの紹介」、「職場定着の助言」に関する期待度が高かったことを重視し、求人者サービスの向上には、事業所の詳細な状況の把握を紹介窓口でよりの確な助言につなげることが有効であることから、積極的な事業所訪問に取り組んだ結果、年間の訪問目標80社に対し実績は167社となりました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取り組みについて

各産業とも人手不足が続く中、求人者の満足度が低調であったことは、平成30年度においても継続する課題と捉え、引き続き事業所訪問を積極的に実施し、企業と仕事に関する知識・理解を深めるとともに、求職者担当制を推進することにより、更なる的確な紹介に努めます。

また、平成29年度のミニ面接会の開催は5回でしたが、求人事業所のニーズに対応できるよう、人手不足業種を中心に実施回数の増加を

目指します。

求職者サービスでは、来所者の誘導方法の見直しによる待ち時間の短縮化、より効果的な情報提供と相談窓口利用向上につなげるための「求人情報提供端末の操作方法に関するセミナー」を実施し改善に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成29年度の管内の雇用情勢は、求人倍率が1.67倍であり、前年度の1.45倍を0.22ポイント上回り、特に主要産業である電子部品製造業では生産が好調で求人数も増加傾向で推移するなど改善がみられ、ほとんどの業種において人手不足が生じました。

平成30年度には大型小売店の開店が報じられるなど、更に人手不足が進展すると見込まれており、今後も求人者サービス、求職者サービスの充実を図るとともに、自治体や商工会議所等地域の関係機関との連携を深め、大量雇用変動への対応、雇用に関する各種情報等の収集・提供、自治体の要望を踏まえた共同事業の実施に引き続き取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワークの 紹介により 正社員に結 びついたフ ィーダー等	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	3,087	3,099	1,116	72.5%	95.5%	16.6%	20.9%	46	487	7,488	1,360
目標	2,960	2,910	980	90.0%	90.0%	19.0%	22.3%	45	540	6,748	1,297
目標達成率	104%	106%	114%			87%	94%	102%	90%	111%	105%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク益田 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求人増加と求職者の減少傾向が続く中、深刻化する人材不足問題に対応するため、『紹介件数（常用）を伸ばしていく』ことを基本方針として、以下の取組（ア～カ）を重点的に取り組んだ結果、紹介件数（常用）は2,475件、前年度比0.2%の微減にとどまり、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）は、すべて目標を達成しました。また、就職率・充足率・雇用保険受給者の早期再就職率もすべて前年度実績を上回りました。

ア. 職員による提案求人の提供サービスの強化（紹介件数2,030件、紹介件数全体に占める割合82.0%）

イ. 求職者担当制支援の強化（紹介件数584件、就職件数383件）

ウ. 失業認定日における雇用保険受給者の全員相談

エ. 給付制限期間中の者に対する認定応当日相談（紹介件数348件、就職件数197件）

オ. 求人充足会議における対象求人の画像情報等の収集・所内掲示の強化（充足件数144件、充足率22.1%）

カ. 求人担当制の強化（求人充足会議対象求人の紹介件数158件、充足件数87件、充足率37.0%）

また、中長期的な職員の育成を図る観点から、取組の活性化サイクルに関する研修、PDCA管理に関する研修及び益田労働基準監督署との共同研修並びに若手職員による公的職業訓練の適切な受講あっせんに関する研修を年9回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 求職者サービスにおいて業務改善を図った事項は、以下（ア. イ）のとおりです。

ア. 正社員就職の促進を図るため、求職者担当制のアウトカム指標として支援対象者のうち正社員就職件数の目標数を設定し、個別支援に取り組みました。（求職者担当制による正社員就職件数210件（正社員就職件数全体に占める割合34.0%））

イ. 職業相談窓口の利用率向上を図るため、就職支援サービスメニューが求職者によりわかりやすいようにリーフレットを作成し、求人情報提供端末に貼付することなどによって、周知・徹底を図り、職業相談窓口を気軽に利用できるよう環境整備を行いました。（職業相談件数は、前年度比1.9%増加の13,474件）

② 求人者サービスにおける業務改善を図った事項は、以下（ウ. エ）のとおりです。

ウ. 正社員求人の確保を図るため、リーフレット資料「早期人材確保のコツ」を作成し、求人受理時等において、求人者に配付・助言等

に活用しました。

エ. 求人者支援を強化するため、ミニ面接会・会社説明会を年間 104 回実施し、226 名の参加者が確保できました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

- ① 求職者に対する就職支援をさらに強化するため、所独自の応募書類添削セミナー及び面接対策セミナーを実施し、きめ細かな個別支援に取り組めます。
- ② 求人者に対する充足支援をさらに強化するため、職員による事業所訪問・職場見学の実施回数を増やして取り組めますとともに、所独自の人材確保セミナーを実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内における求人数は、大手小売業の常用パート求人の占める割合が高いため、正社員求人の確保に苦戦している状況であるため、非正規雇用求人の正社員転換を促すなど雇用管理指導援助業務と連携し、良質求人の確保に努めてまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受領地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者の就職 件数	正社員求人 件数	正社員就職 件数
実績	1,350	1,261	417	75.9%	92.9%	15.6%	21.4%	53	3,125	618
目標	1,210	1,150	385	90.0%	90.0%	16.1%	20.3%	42	3,097	542
目標達成率	112%	110%	108%			97%	105%	126%	101%	114%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク雲南 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者に対する担当制支援を積極的に進めることで、マッチングの強化を図り、面接練習や応募書類作成支援などの個別支援を実施しました。

また、平成29年度に発生した工場閉鎖に伴う大量離職事案では、雲南市や管内商工会などと連携し、地域の求人情報の提供や福祉関係の企業説明会の開催などを実施し、早期の再就職支援のための取組みを行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手人材を中心とした業務推進の研修を2回実施し、さらに、職業相談担当者を対象とした面接支援や応募書類添削などのスキルアップ研修を年3回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成28年度の取組では、正社員求人数を増やすことが出来なかったため、平成29年度は積極的に事業所訪問や電話による求人開拓などを実施し、正社員求人数の目標を大きく上回る事が出来ました。また、求人充足サービスをさらに進めるため、求人事業主を対象とした「人材確保セミナー」を3回実施し、人材不足の対策として概ね好評をいただきました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度は求人受理数が増加した半面、求人紹介率及び求人充足率が低下したため、今後は充足促進に向けたマッチングをより積極的に推進します。

（4）その他業務運営についての分析等

管内では高齢化が県内の中でも進んでいることを課題と捉え、中高年齢者に特化した就職活動支援「シニアわーくセミナー」を3回開催し、「就職意欲が高まった、就職活動の方法が分かりやすくなった」などの評価をいただきました。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

求職者への就職支援に関して、ハローワークから積極的に働きかけるマッチング（職員一人当たり1日最低1件以上を目標とした取組）により就職件数の目標達成に大きく貢献することが出来ました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	公的職業訓練 の修了3ヶ月 後の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	833	672	377	97.4%	97.1%	17.7%	21.5%	59	1619	404
目標	810	617	305	90.0%	90.0%	20.3%	20.8%	27	1361	382
目標達成率	102.8%	108.9%	123.6%			87.2%	103.4%	218.5%	119.0%	105.8%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク石見大田 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数（常用）及び充足件数（常用）の目標達成を最重要と考え、マッチング業務に重点を置いて取組み、日々の新規求人における正社員求人、非正規求人の中で応募の可能性が高いと思料する求人、受理後2週間経過時点で紹介件数0件求人について、全てマッチングを行いDM送付等の情報提供を実施しました。

また、認定日での全員相談時にもマッチングを行い、情報提供を着実に実施しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、「キャリアコン資格取得」「クレーム対応とその解決スキルアップ」や「労働基準法」などの研修を行い、職員の資質向上に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査のアンケートでは、「ポスター、パンフ類の陳列掲示改善」、「苦情提出先や意見箱の幅広い浸透」及び「HWが実施する各種支援サービスの説明」等に関して期待度が高かったことから、調査結果をまとめたうえで職員会議において利用者の期待度の実態を示しつつ検討を行い、「ポスター、パンフ類の陳列掲示見直し」、「意見箱の入り口付近への設置」及び「就職支援メニューの見直し」などの改善に取り組ましました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少する傾向の中で、引き続きマッチング業務を所の最重点業務として位置づけ、求人・求職両ベースのマッチングや担当制を活用したマッチング等を着実に実施し、紹介件数の向上等に向け取り組んでいきます。

また、市の広報誌等を活用し、当所の就職支援メニューを広く市民に周知するなど潜在求職者の掘り起こしに取り組めます。

(4) その他業務運営についての分析等

管内求人事業所の人手不足解消を図るため、平成 29 年度に 12 回開催したミニ面接会も参加者が低調であったことから、平成 30 年度は自治体等との連携により広く開催情報を提供するなど、参加者の増加を図り人材確保に取り組みます。

また、求人に対する紹介率が低調であることから、他局の好事例等を収集し、活用を試みながら改善していくこととします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

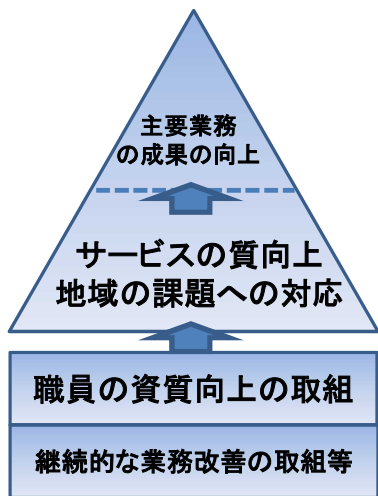
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	フリーター等 の就職件数
実績	663	513	204	74.4%	95.1%	12.5%	21.6%	1,460	291	112
目標	616	510	191	90.0%	90.0%	14.9%	20.6%	1,355	272	80
目標達成率	108%	101%	107%			84%	105%	108%	107%	140%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 - 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催